

播種適期を過ぎたソバ「会津のかおり」は、 皮切粒の発生が増える傾向がある

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

普通作物－ソバ－作型・栽培型

2 担当者名

新田靖晃、山田真孝

3 要旨

種皮が割れ果実の一部が剥出しになる皮切粒は、現地で発生が報告されている。適期を過ぎて播種されたソバ「会津のかおり」は、皮切粒の発生が増える傾向が認められた。

- (1) 子実の皮切れは、穂発芽が発生しやすくなり、品質低下を助長する(図1)。
- (2) 会津平坦地の適期播種(7月22日、8月1日)より遅い8月9日播種において、皮切粒の発生が増える傾向が認められた(表1)。なお、刈遅れによっても皮切粒が増える傾向があるので(表1)、播種、収穫の適期作業に留意する。



皮切れした粒の複数から、穂発芽が発生

図1 皮切れ、穂発芽の様子(多発粒)
(品種 会津のかおり)

表1 播種日及び収穫日の違いとソバ「会津のかおり」の皮切粒の発生状況

播種日 (月日)	収穫日 (月日)	経収穫日適数期 (日)の	容積重 (g/L)	発皮生切率粒 (%)
7月22日	9月20日	-5	625	0.6
	9月25日*	+0	610	4.9
	10月1日	+6	613	3.5
	10月9日	+14	602	4.1
8月1日	10月1日	-8	625	4.2
	10月9日*	+0	629	4.2
	10月17日	+8	617	8.0
	10月21日	+12	610	7.7
8月9日	10月9日	-7	621	9.2
	10月16日*	+0	592	17.8
	10月21日	+5	562	18.2
	10月28日	+12	562	13.3

注 農業総合センター会津地域研究所2019年
試料の粒径は、4.2mm以上

*収穫適期の目安である子実の黒化率が80%程度となった日

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和元年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 ソバ「会津のかおり」の高品質ブランド産地化安定生産技術の確立
(福島県とJAグループ福島による福島県産農産物競争力強化共同事業)

5 主な参考文献・資料 なし